

第七次

鹿島市総合計画

【概要版】

KASHIMA CITY
MASTER PLAN
2021-2025



第七次鹿島市総合計画の策定にあたって

このたび、令和3年度から令和7年度までの5カ年計画として、「第七次鹿島市総合計画」を策定しました。総合計画は、将来のまちづくりの基本的な方向性を示すもので市のすべての活動の根拠となる最上位の計画になります。

これまで六次の総合計画を策定し、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指し、様々な事業に取り組んでまいりました。主なものでは、治水対策として中木庭ダムや防災拠点である新世紀センターの建設のほか、移住・定住対策として市営中村住宅の建設等を進めてきました。

また、私たちを取り巻く社会も日々変化しており、近年では、全国で頻発している豪雨や地震による大災害、新型コロナウイルス感染症の大流行などにより、私たちの生活をはじめ経済や医療は大きな影響を受けております。その他、情報化社会の急激な進展にみられるよう国の政策や動向も目まぐるしく変化しており、ここ数年でまちの風景だけでなく市民の生活環境も大きく様変わりしています。

今回、第七次鹿島市総合計画の策定に際して考慮したことのうち、特徴的な事項として3点が挙げられます。

1点目は、総合計画に掲げるまちづくりのうち、主に人口減少対策に特化した施策を提示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、総合計画と整合性をもって進めることがまちづくりを進めるうえで重要であると考え、一体的に策定することとしました。

2点目は、「防災・減災」への関心が高まる中、市民、行政などがそれぞれの役割の中で、お互いに助け合える防災意識の高いまちづくりを目指すため、「災害に強いまちづくり」を基本的考え方の一つに加え、「安全・安心」なまちづくりを推進していくこととします。

3点目は、情報通信技術（ICT）の進歩によるSociety5.0の推進や国際目標であるSDGsの実現など新しい考え方をもって、持続可能な住民サービスを提供していくための施策や事業を展開していきます。

これらの考えを基に、今まで市民とともに積み上げてきたまちづくりの理念を継承し、先人が大切に残してきた地域の宝である、自然、文化、ひと、技術で、鹿島らしい地域性、地域力を活かした地方創生を実現し、市民・団体・行政がお互いに連携、協働して、人口減少などの地域課題を解決し、「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」を目指してまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました総合計画審議会委員の皆さまをはじめとして、アンケート調査など貴重なご意見・ご提案をいただきました皆さまに心から感謝申し上げます。



令和3年3月

鹿島市長 樋口 久俊

第1編 序論

1 総合計画とは

第七次鹿島市総合計画は、鹿島市の将来像やそれを実現するためのまちづくりの基本的な方向性を明らかにしたもので、市のすべての活動の根拠となる最上位の計画です。

総合計画は、まちづくりの基本的な方向性そのものであり、これを策定し、明らかにすることは目標をみんなで達成していくための意思統一の手段だと捉えています。

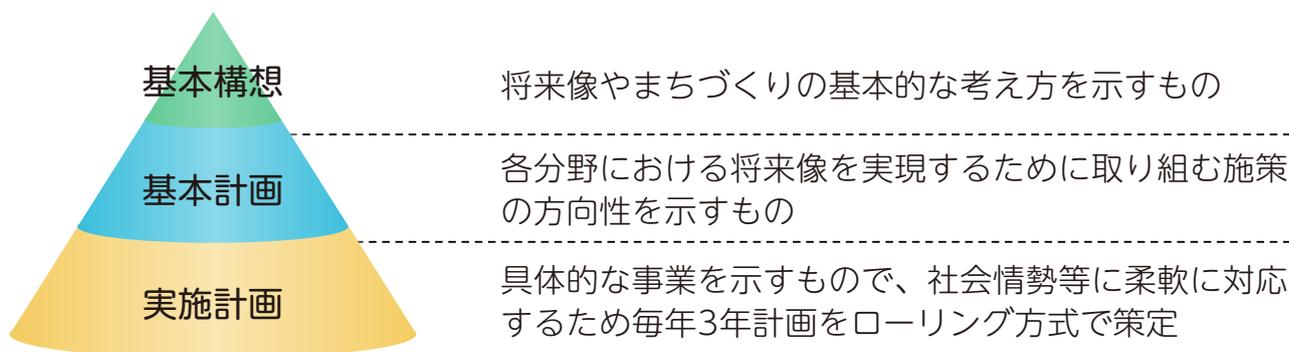
鹿島市においては、以下の理由により第七次鹿島市総合計画を策定します。

- ① 市の様々な分野の個別計画において目指すべき方向性を同一にするため
- ② 市民と行政が支え合い、協力して、みんなで鹿島のまちづくりに取り組むため

構成 「基本構想」 「基本計画」 「実施計画」

目標年度 2025年度（令和7年度）

計画期間 2021年度から 2025年度までの5年間



2 総合計画策定のコンセプト

- 基本構想・基本計画は5年間
- 簡単な言葉で表現します
- 計画実現のために目標を定めます
- これまでの事業の成果を反映します
- その他の計画と整合させます

第2編 基本構想

1 目指す都市像

みんなが住みやすく、暮らしやすいまち

2 施策の基本的考え方

Point 1 「しごと・ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の好循環を目指します

しごと・ものづくり で「若者の流出に歯止めをかけ」

ひとづくり で「若い世代が安心して働き、子育てができる環境をつくり」

まちづくり で「鹿島の魅力を活かしたまちづくり」を実現する

これらが好循環でつながることで、人口減少に歯止めがかかっていくと考えます。

Point 2 みんなですすめるまちづくり

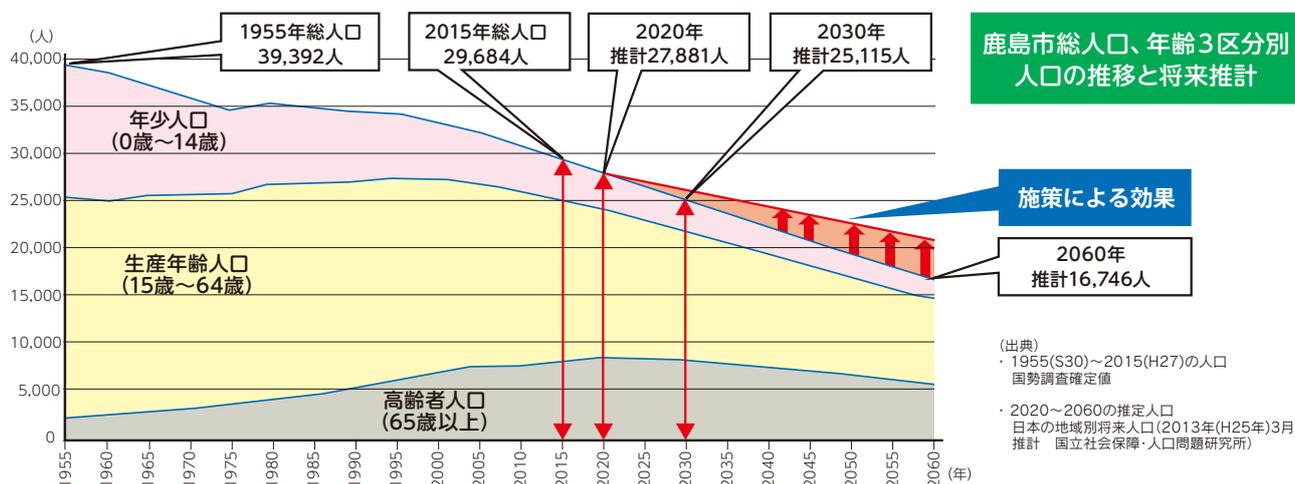
市民一人ひとりや各種団体、企業と行政を含めた地域の誰もが、ともに連携し、協働し合うことで地域の課題を柔軟に対応していく地域共生社会を目指していきます。

Point 3 災害に強いまちづくり

災害はいつどこで起こるかわかりません。市民や地域の企業・団体と行政がそれぞれの役割の中で、お互いに助け合い、日頃から災害を想定した対策や備えを心掛け、防災意識の高いまちづくりを目指します。

3 将来人口と人口に対する考え方

本市の人口は年々減少しており、今後も減少傾向は続くと推計されますが、人口減少傾向に歯止めをかけるために、「しごと・ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の好循環をつなぐため、総合計画等の着実な実施により人口減少カーブを緩やかにします。



4 まち・ひと・しごとと創生総合戦略(第2期)

第2期「総合戦略」は、第1期の4つの基本目標を継承し、更に地方創生を発展させるため、各分野に横断的に関連する目標を追加し、地域資源の積極的な活用を図り、多様な地方創生の取組みを推進していきます。

目標① 鹿島の「ものづくり」をさらに磨き上げて、鹿島ならではのしごとを生み出す

目標② 定住促進と交流人口の拡大

目標③ 若者の定住を促し、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりの推進

目標④ 安全・安心の確かな暮らしを営む、ずっと暮らし続けたいまちの実現

横断的な目標① みんなが活躍できる「まちづくり」を推進する

- ・CSO団体への支援
- ・地域における担い手の育成、支援
- ・多文化共生の推進
- ・男女共同参画社会の推進

横断的な目標② 新しい時代の流れを「まちづくり」に活かす

- ・Society5.0の推進
- ・持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた取組み

総合戦略と
総合計画の
関係

総合戦略は、総合計画の各分野の中で「しごとづくり」・「ひとづくり」・「まちづくり」に特化した事業に取り組むもので、総合計画と一体的に策定し、相互に整合性を持たせます。

目標年度

2025年度(令和7年度)

計画期間

2021年度から2025年度までの5年間

《参考》Society5.0の実現

鹿島市においても、人口減少による生産力や地域力の減少など社会問題に対応し、持続可能な住民サービスを提供していくため、ICTの活用による課題解決を図っていきます。



(引用:内閣府ホームページ)

《参考》持続可能な開発目標(SDGs)の推進

2015年9月に開催された国連サミットで、長期的な開発の指針として17の目標と169のターゲットが定められ、地球上の「誰一人として取り残されない」社会の実現を目指すことにしています。

鹿島市においても、この国際目標と同じ理念と方向性をもって、施策や事業を展開していきます。



(引用:国際連合広報センター)

第3編 基本計画

第1章 産業の振興

1 農業・林業・水産業



施策の展開方向

- 地域農林漁業の担い手の育成など第一次産業の持続的発展のための取組みを支援します。
- 安定・高収益な施設園芸の振興など国際情勢の変化を注視しつつ、競争力の強化を図ります。
- 大規模災害に備えてため池等の耐震化など農林漁業施設の機能回復および安全性の向上を図ります。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	農林漁業の中核となる多様な担い手の育成と新規就業者・後継者への支援	トレーニングファームなどによる新規就農者の支援 2組/年	まち・ひと・しごと
4	農産物の生産コスト低減および品質向上による競争力の強化	さが園芸生産888億円推進事業を活用した生産設備導入 5件/年	まち・ひと・しごと
9	農林漁業施設の長寿命化および耐震化	農村地域防災減災事業(耐震工事) ・黒岩ため池 令和5年度完了	まち・ひと・しごと

2 商業・工業



施策の展開方向

- 中小企業・小規模事業者への支援を行い、商工業の持続的発展を目指します。
- 本市の有利性を活かした迅速、的確な情報収集・情報発信による企業誘致に取り組みます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	事業者への伴走型個別支援の推進	かしまビジネスサポートセンターによる事業者への支援体制の整備 ・創業者件数 8件/年 ・経営課題の解決 5件/年	まち・ひと・しごと
4	鹿島の有利性を活かした、迅速、的確な情報収集・情報発信による企業誘致の推進	新規工業団地整備計画の策定 令和4年度計画完了	まち・ひと・しごと
5	地元企業と就職希望者とのマッチングの促進	企業説明会の実施による県内就職率10%向上 65.2%(R1年度末)→75.2%	まち・ひと・しごと

3 新たな産業の創出と支援



施策の展開方向

- 産業間の連携による地域産業の活性化と魅力発信を行います。
- 市内事業者の販路開拓を支援します。
- 産業活性化施設「海道するべ」を積極的に活用します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
2	産業間連携の強化	かしま仕事めぐりツアーの開催 2回/年	まち・ひと・しごと
4	産業活性化施設「海道するべ」の積極的な活用	商品化に向けた加工品の開発 10品/年	まち・ひと・しごと

4 観光



施策の展開方向

- 誘客につながるイベントなどの開催への支援や体験型観光の充実を図り、交流人口の増加を目指します。
- 回遊性を高め長時間滞在してもらえる観光地づくりを目指します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
5	干潟交流館を活かした道の駅鹿島の魅力向上	・ イベントの実施 5回/年 ・ 来館者数 6万人/年	まち・ひと・しごと
6	インバウンド受入体制の充実	多言語表記の案内マップや看板の新設・更新 10箇所(5年間)	まち・ひと・しごと
7	九州新幹線西九州ルート(長崎ルート) 開通を見据えた誘客の促進	周辺市町と連携した広域観光ルートの提案 5コース(5年間)	まち・ひと・しごと



企業説明会



干潟交流館外観

第2章 福祉・保健・医療の充実

1 社会福祉(地域・高齢・障がい)



施策の展開方向

- 自助(自分・家族の努力)、互助(隣近所や地域の支援)、共助(福祉団体等の支援)、公助(公的サービスの提供)の連携を推進し、地域で安心して暮らせるまちづくりに努めます。
- 障害者基本計画に掲げたノーマライゼーションの理念のもと、障がいへの差別や偏見をなくし、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
2	社会福祉協議会を拠点とした地域福祉活動の推進	ボランティア登録者数 493人(R1年度末)→550人	まち・ひと・しごと
3	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の推進	認知症サポーター数 3,911人(R1年度末)→4,600人	まち・ひと・しごと

2 児童・子育て支援



施策の展開方向

- 子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てに関する支援の量・質の充実を図り、家庭や地域、職場をはじめ、社会全体で子育てを支える環境整備に努めます。
- 親子の遊び場や交流の場となる子育て支援センター(ひろば)の充実を図り、育児講座の開催や相談への助言、子育てに関する情報の集約、提供を行います。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	鹿島市子ども・子育て支援事業計画の推進	ファミリーサポートセンターの利用件数 30件/年(R1年度末) →100件/年	まち・ひと・しごと
		病後児保育の実施 市内1箇所(5年間)	まち・ひと・しごと
3	子育て総合相談センターを中心とした妊娠・出産・子育て期に応じた個別支援体制の強化	妊娠・出産に関する訪問等支援 延278件/年(R1年度末) →延300件/年	まち・ひと・しごと

3 生活困窮者支援



施策の展開方向

- 生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援事業を積極的に活用し、相談支援体制の充実を図ります。また、生活保護制度に優先して行われる他のあらゆる社会保障制度の十分な活用を促進します。
- 被保護者が健康で文化的な生活水準を維持できるよう、生きがい対策や健康づくりを推進します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
4	稼働能力のある被保護者に対する就労促進と自立支援	自立実績 12件(5年間)	まち・ひと・しごと
5	被保護者の健康管理に対する支援	健康増進法に基づく健康診査の受診率 10.2%(R1年度末)→15%	まち・ひと・しごと

4 保健・医療・年金



施策の展開方向

- 健康寿命を延ばし、元気でいきいきとした生活が送れるよう、健康づくりや疾病予防の取組みを推進します。
- 母と子どもの健やかな成長を支援するため、母体の心身の健康管理や子どもの発達に応じた各種健診、予防接種事業などに取り組み、安心して子育てができる体制づくりに努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	健康づくり・疾病予防対策の充実	子宮がん検診の受診者数 1,168人(R1年度末)→1,268人	まち・ひと・しごと
7	国民健康保険被保険者の生活習慣病予防のための特定健診・特定保健指導の推進	特定健診受診率 41.4%(R1年度末)→45.0%	まち・ひと・しごと



音楽サロン



1歳6か月健診

第3章 都市基盤の整備・環境の保全

1 都市基盤



施策の展開方向

- 持続可能な公共交通を維持して利便性の高い交通網を整備します。
- 住みやすいまちづくりを推進します。(肥前鹿島駅舎および駅前周辺の整備など)
- 市民が安心して、安全に暮らしていけるように住宅政策を推進します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
9	自家用車のほか公共交通・徒歩等の生活様式の多様化に合わせた移動手段を推進	予約型のりあいタクシー年間運行便数 309便(R1年度末)→350便	まち・ひと・しごと
11	肥前鹿島駅前周辺整備計画の具現化と整備	令和7年度までに着工	まち・ひと・しごと
18	住宅セーフティーネット制度を活用した、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の整備推進	民間賃貸住宅登録 10件(5年間)	まち・ひと・しごと

2 生活環境



施策の展開方向

- 下水道の汚水事業の促進と合併処理浄化槽設置整備事業の推進により、市内全域の生活環境改善および美しい水環境の維持に努めます。
- 資源循環型社会を構築できる環境都市を目指します。
- 動物愛護と適切な管理に係る普及啓発に努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
2	下水道汚水事業のPPP(官民連携手法)による整備促進	下水道供用開始世帯数 4,632世帯(R1年度末) →5,510世帯	まち・ひと・しごと
6	プラスチックごみを含むごみの減量化・再資源化の実施	さが西部クリーンセンターへ出すごみの減量化 約10%減量 7,880t(R1年度末)→7,092t	まち・ひと・しごと
10	ペットの適正な飼い方に関する啓発活動の実施	出前講座 6回/年	まち・ひと・しごと

3 自然環境



施策の展開方向

- ラムサール条約と東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップに基づき、有明海の海域環境の保全と地域活性化等の有効的な利用に努めます。
- 人と自然が共生できる地球に優しい自然豊かなまちづくりに努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	ラムサール条約に基づく海域環境および生物多様性保全に関する普及啓発活動	干潟を守る活動に関する各種イベント参加者数 7,000人(R1年度末) →10,000人	まち・ひと・しごと
3	環境教育プログラムの実施	市内小中学校での実施 7校(R1年度末)→9校	まち・ひと・しごと

4 伝統的町並みおよび集落の保存と活用



施策の展開方向

- 伝統的町並みとその周辺で住環境を改善させる公共施設整備を図ります。
- 伝統的町並みとその周辺で連携して、相乗効果のある活用を図ります。
- 空き家となっている伝統的建造物を有効利用するため、観光や入居者を募った定住促進などに活用します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
5	街なみ環境整備事業地区における道路美装化、照明灯などの整備	令和4年度までにエリア拡大	
6	空き家となっている建造物の観光資源化または定住促進などへの有効活用	住居や店舗などへの有効活用 5件(5年間)	まち・ひと・しごと



肥前鹿島駅前周辺



環境教育プログラム(野鳥観察)

第4章 安全・安心



1 防災・減災

施策の展開方向

- 国土強靱化地域計画に基づき、災害に強いまちづくりに努めます。
- 自主防災組織の育成・支援などにより、地域防災力(自助・近助・互助・共助)の向上に努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
4	都市雨水排水施設のストックマネジメント計画に基づく計画的な改築・更新および浸水被害に関する住民への周知強化	内水ハザードマップ作成 令和4年度	まち・ひと・しごと
8	地域防災力(自助・近助・互助・共助)の向上	自主防災組織等の地域を主体とした防災研修および防災訓練の実施 20回/年	まち・ひと・しごと



2 交通安全・防犯

施策の展開方向

- 交通安全や防犯など暮らしの中の安全・安心に努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
2	犯罪が起きにくい地域づくり	子どもの通学路や遊び場等への防犯カメラの設置 10箇所(5年間)	まち・ひと・しごと



3 感染症対策

施策の展開方向

- 感染症対策を考慮した災害用備蓄物資の整備に努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	感染症対策を考慮した災害用備蓄物資の整備	災害時想定避難者数(人口の5%)の備蓄品の整備 27品目(R1年度末)→37品目	まち・ひと・しごと

第5章 教育・文化・スポーツの向上



1 学校教育

施策の展開方向

- 新しい時代に生きる子どもたちに必要な資質・能力を伸ばす教育を推進します。
- 学校と地域の連携を強化し、地域の信頼に応える学校づくりを目指します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	確かな学力の向上と定着へ向けた指導の充実と機会の確保	習熟度に関するアンケート 「学校の授業内容がよくわかる」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒の割合 ・小学5年生 92.3%(R2年度)→95% ・中学1・2年生 87.7%(R2年度)→93%	
12	「地域とともにある学校づくり」の実現へ向けた学校運営協議会の設置	市内小中学校に学校運営協議会を設置 2校(R1年度末)→9校	まち・ひと・しごと

2 社会教育



施策の展開方向

- 社会教育関係団体をはじめ、まちづくり団体や NPO など多様な組織と連携・協働し、地域活動の支援、青少年の健全育成などに努めます。
- 差別や偏見について自らの問題として受け止め、あらゆる差別を許さない人権感覚を身に付けることをめざし、人権・同和問題に関する教育と啓発の推進に努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
4	ふるさとの豊かな自然や地域資源などを活かした体験活動の充実	体験活動の実施 6回/年	まち・ひと・しごと
9	人権・同和問題に関する教育・啓発活動の推進	インターネットによる人権侵害、女性・子どもの人権等に関する研修、広報 1回以上/年	

3 文化・芸術



施策の展開方向

- 地域の歴史的、文化的資産の保存、継承、活用に取り組むとともに、市民の郷土愛と理解を深め、まちづくりに活かします。
- 新市民会館を「まちの晴れ舞台」として整備し、様々な文化芸術活動の発表や芸術鑑賞など多様な市民交流の場を提供します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	社会教育や学校教育の場で、郷土の歴史や文化の再発見や再認識に向けた取り組み	文化財パンフレットを活用した講座等の開催 2回/年	まち・ひと・しごと
7	新市民会館の整備による生涯学習センター(エイブル)と連動した市民文化交流の場の提供	新市民会館年間利用者数 15,000人/年	まち・ひと・しごと

4 スポーツ



施策の展開方向

- 生涯スポーツを推進し、心身の健康増進と体力向上を図るとともに、市民の健康寿命の延伸に努めます。
- スポーツ(する・みる・ささえる)への「きっかけづくり」のため、スポーツイベントの誘致やスポーツ合宿などを推進します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
1	総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ・鹿島」の育成、支援	スポーツライフ・鹿島会員数 651人(R1年度末)→750人	まち・ひと・しごと
3	スポーツイベントの誘致およびスポーツ合宿の推進	イベント誘致・合宿団体 延40団体(5年間)	まち・ひと・しごと



ICT環境整備(小学校パソコン教室)



新市民会館(全体:イメージ図)

第6章 計画を推進するために

1 みんなですすめるまちづくり



施策の展開方向

- 交流人口、関係人口、移住定住人口の増加を図ります。
- 人権が尊重されるまちづくりを目指します。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
8	移住を考えている人への鹿島の魅力や支援に関する情報発信と定住促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方創生移住支援事業を活用した移住者 1人/年 ・ 地域活性化を推進する婚活応援事業への支援 1事業/年 	まち・ひと・しごと
10	男女共同参画基本計画に基づく男女共同参画社会づくりの推進	各種委員会・協議会委員の女性の割合 27.1%(R1年度末)→40%	まち・ひと・しごと

2 行財政運営



施策の展開方向

- ICTの活用、業務委託などによる事務の効率化と市民サービスの向上に向けた行政運営に努めます。
- 健全な財政運営に努めます。

	主要施策(抜粋)	目標・指標等(目標値年度は令和7年度)	総合戦略該当
3	マイナンバーカードの普及促進	マイナンバーカード交付率 16.5%(R1年度末)→70%	まち・ひと・しごと



男女共同参画研修会



移住相談会

鹿島市役所お問い合わせ先

	課名・施設	電話番号 (市外局番0954)	主な業務内容
庁舎1階	市民課	63-2117	戸籍・住民票の請求、転入・転出・転居、死亡届・婚姻届などの提出、印鑑登録、パスポートの申請・受取、マイナンバーカードの申請・受取、国民年金など
	税務課	63-2118	市民税、固定資産税、国民健康保険税、市税の徴収、督促など
	会計課	63-2102	公金の収納および支払いなど
	福祉課	63-2119	障がい者福祉、児童手当、生活保護など
	保険健康課	63-2120	国保、後期高齢者医療、健康づくり、高齢者福祉、介護保険など
庁舎2階	産業支援課	63-3411	農商工連携、6次産業化など
	商工観光課	63-3412	商工業の振興、消費生活相談、観光の振興など
	農林水産課	63-3413	農業・林業・水産業の振興など
	農業委員会事務局	63-3417	農地の転用、農地の権利移動および農業者年金など
	都市建設課	63-3415	都市公園、市営住宅、道路橋梁の整備、伝統的まちなみ保存など
	教育総務課	63-2103	学校教育への指導・助言、学校施設の管理など
	生涯学習課	63-2125	社会教育の推進、文化保護、スポーツの振興など
	人権・同和対策課	63-2126	人権・同和対策、男女共同参画など
庁舎3階	総務課	63-2111	文書管理、嘱託員、情報公開、職員人事管理、消防防災、交通安全対策など
	企画財政課	63-2101	秘書渉外、総合計画、地域振興、国際交流、ふるさと納税、財政計画、予算編成、入札契約など
	選挙管理委員会事務局	63-3418	選挙の運営
	土地開発公社	63-2127	用地の先行取得
	監査事務局	63-2115	監査に関する事務
庁舎4階	議会事務局	63-2104	市議会の運営
新世紀センター	環境下水道課 ラムサール条約推進室	63-3416	環境美化推進、廃棄物処理、ペット愛護、公共下水道、ラムサール条約登録湿地など
	水道課	62-3718	上水道の開栓・閉栓など
生涯学習センター エイブル	保健センター	63-3373	各種予防接種、妊婦・幼児の健康診査、赤ちゃん相談など
	生涯学習センター	63-2138	生涯学習センター「エイブル」の研修室、ホール利用予約、市民体育館、中学校体育館、中川グラウンドなどの利用予約
	市民図書館	63-4343	図書の貸出し・予約、図書資料の調べもの相談など
市民交流プラザ かたらい	市民交流プラザ	63-3030	市民交流プラザ「かたらい」の会議室、キッチンスタジオの貸出、トレーニングルームの利用
	子育て支援センター	63-0874	子育てに関する相談、講座の開催
その他	海道しるべ	63-8060	産業活性化施設「海道しるべ」の利用、農林水産物加工、新商品開発
	干潟交流館	60-5028	有明海の生物の展示、研修室
	学校給食センター	63-2453	学校給食の調理



第七次 鹿島市総合計画 概要版 (2021-2025)

発行/佐賀県鹿島市

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1
TEL 0954-63-2111 (代表) FAX 0954-63-2129
<https://www.city.saga-kashima.lg.jp/>

編集/鹿島市役所 総務部 企画財政課